

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	人権擁護関係費			
担当課係名	市民課	市民係	作成者	佐川由紀子
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 93
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備		
	主要施策	基礎学力向上と心の教育の充実		
予算費目	一般会計	3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 21 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	法務省			
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内7小学校5・6年生
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	小学生を対象にした啓発運動で、花の種子、球根などを児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、情操を豊かにし、やさしい思いやりの心を体得させ人権思想をはぐくむ。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	花の苗の植栽を行う。

【事務事業の推移】

		項目	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	活動日数	目標	日		7	
			実績	日		7	
			達成度	%		100.0%	100.0%
	成果指標	参加者数	目標	人		193	499
			実績	人		193	499
			達成度	%		100.0%	100.0%
投下コスト	項目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)				398	584	
	人件費(B)				793	806	
	職員数				0.10	0.10	
	職員平均人件費				7,925	8,057	
	(A)+(B) 投下コスト				1,191	1,390	
	財源内訳	国庫支出金				0	0
		県支出金				293	479
		地方債				0	0
		その他				0	0
		一般財源				898	911
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)				397,000	198,571	
	市民1人当たりのコスト(円)				38	45	

【事務事業の今までの成果】

平成20年度は3校で実施したが、平成21年度は市内全7校で実施した。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	継続される予定。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	学校の美化運動の一環にもなっている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	人権啓発運動として効果が期待されるので継続する。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	少年期から人権思想を育む取り組みは必要であると考えますが、花の植栽との直接的な結び付きが不明瞭であり、事業の見直しも含めて検討する必要があると考えます。

